

CIPA

中国インテリアプランナー協会

Chugoku Interior Planner's Association

<http://cipa21.com>

2008 vol.13
通信

communication

〒731-5135

広島市佐伯区海老園 1-13-7

(有)エルイーオー設計室 内

tel : 082-923-2132

fax : 082-922-0018

e-mail : cipa@cipa21.com



会長のつぶやき

5月のゴールデン・ウィークを迎えると、「目に青葉 山ホトトギス 初鯉」と心うかれる陽気となります。

柳田国男著「遠野物語」の中に、郭公(カッコウ)と時鳥(ホトトギス)の話があります。姉の郭公がジャガ芋を掘って焼き、その堅いまわりを自分が食べて、中の軟らかい所を妹の時鳥に与えました。妹は姉が旨い所を食べたものと勘違いし、包丁で姉を殺した。姉は「ガンコ、ガンコ」と啼いて飛び去った。ガンコとは堅い所という方言。しばらくして妹は姉が旨い所のみを自分にくれたことを悟り、悔恨した。そして「包丁かけた」と啼いた。遠野ではホトトギスのことを包丁かけと呼ぶそうです。

青葉の頃、山ホトトギスの声を聞くたびに、この姉妹の話を憶いだします。そしてカメラマンの森山大道のごとく遠野郷へ行きたくくなります。新花巻で釜石線に乗り換えて遠野まで行き、駅前のスナック喫茶に入り浸り、「カメラは複写機だ」、「未来はつねに懐かしい」などとうそぶきながら、撮影、COFFEE、撮影、COFFEE、撮影の日々を過ごすのも悪くないかもしれません。

(2008 日高卓三)

「とき」のひと 第6回 藤村靖之 氏

*このコーナーでは、様々な分野で活動されている方々に登場していただいております。

第6回目のインタビューは当協会主催の講演会にて、発明家の藤村靖之さんにお話を伺いました。

Q. 私達が電気というものをどんな概念で捉えたらいいか
電気の根本的な考えかたのヒントを教えてくださいませんか？

A. 私自身は電気は大好きです。
テレビだって見るし、コンピューターだって、携帯電話だって使っています。嫌々使っているのではなく、喜んで使っています。ですから、電気を否定しようなんて、夢にも思っていないのです。ただね、電気は使わなくなってしまうと事が沢山あるんじゃないでしょうか。

例えば、床を掃除する時の事を考えてみますと、電気掃除機ではなくほうきでできてきますよね。その時に、楽しい方を選べばいいじゃない、というのが私の意見なんです。
フローリングの床とか畳の床だったら、私の実験では、殆どの人がほうきの方がうまく掃けるし、楽しくできると言われるんです。但しそのほうきは名人の作ったほうきならばね。と... という話しなんですよ。

そこで実験をしました。電気掃除機とほうきで掃いてもらった所、35人中35人が名人のほうきの方がうまく掃除できました。圧倒的に楽しく掃除できたという結果になりました。道具っていうものは、自分が加えた力に対して、相手の反力、反作用が身体に素直に伝わってくるというのが、優れた道具なんだと思うんですね。だから自由自在にコントロールできるし、技も磨けて、心地がいい。これが名人の作ったものなんだけど、私が実験に使う名人のほうきもね、しなやかで床の反力が見事に伝わってきて、うっとりするぐらいの掃き心地です。

35人全員に、「何故そうじする時、電気掃除機を使うんですか？」と聞いたら、困ったあげく最終的には全員同じ答えが返ってきたんですよ。「明日からほうきにします」って。環境を考えて、むりやり電気を使わないのではなく、どっちが楽しいかをよく考えてみたらどうでしょうか。それから、楽しい方を選び電気を使わなければ、環境にもよくなった。って事ができるのではないのでしょうか。

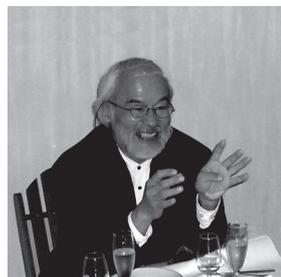
私が発明なんてしなかったって、すでに沢山あるものができるんだけど、それに少し足して、みんなに、「ほら、どっちが楽しいかやってみようよ」というのが、今私が国内でやっている非電化の活動なんです。
私が作っている非電化の冷蔵庫は、放射冷却っていう原理を使うんですよ。放射冷却が起こりやすいような状況を作って、どんどん放射冷却をさせちゃう。そうすると、水をたっぷり蓄えといて、その水がどんどん冷たくなるようにしちゃうんですね。そういう事をする、空が澄んでいれば、7度とか8度とか、それ位はできちゃうんですね。モンゴルで遊牧民の為に、非電化冷蔵庫を作ってあげてるけど、モンゴルは日本よりもっと空が澄んでいますから、放射冷却が起こりやすいです。モンゴルだったら、日中30度越しても、冷蔵庫の中は4度以下をキープできましたね。日本じゃあそこまで行かないけど、日本でも7.8度ぐらいだったら大丈夫ですね。

Q. 私達は電気を使わないと生活できないという錯覚にとらわれているのでしょうか？

A. 昔、そうですね、1950年代1960年代位までは、快適便利を得ると必ず何かを失うって哲学を、日本人はみんな持っていた筈なんですよ。言葉にはしなくてもみんな分かっていた。だから快適便利を得るときには必ず何かを失うんだから、失うものの大きさと、得るものの大きさ、慎重に選んでいくという文化が確実にあったんですよ。だから、お金持ちだから、買う。金持っていないから買わないんじゃないかって、お金持ちも、勿論金を持っていない人も、快適便利を得る事はもの凄く慎重だった筈。

だけど、その後、高度経済成長っていうインフレーションみたいなものがあつたから、何かを得る事は、必ず何かを失う事だっていう哲学が日本人から見事に失われてしまったでしょ。得る事しか考えなくなる。って事は、何故かかんないんだけど、自分さえよければいいや、ってそういう事に繋がってしまう。お金持ってるから、得る事が出来る。お金持っていないと得る事が出来ない。お金持っていない僕は惨めだな〜っていう残念な文化になってしまった。だから今、もう一回、考え直してみてもいい時期かもしれない。何かを得る事は、必ず何かを失うんだ。逆に、何かを失う事は何かを得る事なんだと。

いいチャンスだと思うんですね。これだけ環境問題が切迫してきた訳だから、こういう時に、もう一回、本当の豊かさって一体何なんだっていう事を考えて、そして、楽しい事、健康にいい事。人間関係が温もりのある人間関係になること、そういういろんな豊かさをもう一回考え直してみたら、案外ね〜「いや〜非電化製品はいいな〜」って話しが沢山あるような気がするんですよ。



Profile

藤村 靖之 ふじむら やすゆき

株式会社 発明工房 代表取締役会長

1944年生まれ。

大阪大学大学院基礎工学研究科物理系専攻博士課程卒業(工学博士)。

コマツ熱工学研究室長、カンキョー代表取締役などを経て、現在、発明工房を主宰。科学技術庁長官賞、発明功労者賞などを受賞。

非電化工房ホームページ<http://www.hideka.net/>

Report

スペインロマネスク巡礼

中川裕二

この度、4年前から計画していたスペインロマネスク建築巡礼の旅へと出掛けた。フランス・ルピュイからスペインのサンチャゴ・デ・コンポステーラまでの巡礼コースの前半は、9年程前に全く巡礼コースとは知らずに訪れた経験がある。

その旅を目前に控え、一冊の本に出会った。

植島啓司著の『聖地の想像力』～なぜ人は聖地をめざすのか～によると、「近代未来都市の成功の秘訣は「移動」という概念の捉え方にある」と記されている。この度は、「ロマネスクの建築と聖地との概念」でも探って来ましょうか？なぞと、大層な問題提起をして意気揚々と旅立った。

そもそもロマネスク建築といえば、中世西ヨーロッパの建築様式であり、時代区分としては、おおよそ1000年から1200年頃までのゴシック建築以前の建築を指す。ゴシック建築に比べても質素でありながらもかつ優美なシルエットである。南仏のシトー派の修道院や礼拝堂を見て回った際に、ロマネスク建築の奥ゆかしくもあり、かつ信仰というものの奥深さを感じたものだ。

フランス、トゥールーズからレンタカーで出発し、ピレネーの山を越え、ロマネスク建築の宝庫でもある「カミーノ」の道を中心に辿って行った。

「カミーノ」とは、歩きと自転車で行くサンチャゴ・デ・コンポステーラまでの道のりを「巡礼」していく事である。スタートは自分で決め、ゴールはサンチャゴ・デ・コンポステーラまでであるが、自己の探求の旅でもあるという。私達はそんな「カミーノ」の人達を見ながら、車で走っただけの旅であった。

サンチャゴ・デ・コンポステーラの終盤に近い頃、いきなり一件の農家の庭先に高床式の細長い石作りででき、急勾配の屋根の先頭には十字架のかかった建物に出くわした。それからスペインの西部からポルトガルの北部にあたるまで、大抵の古い家の一番目立つ場所にこの建物は存在した。一体何の用途で作られたものなのであろうか。最初に見た建物の立派な十字架から推測すると、亡くなった人を埋葬するまでの間安置して置く場所であろうか、祭り事に使う道具を置く場所か、はたまた生ハムや薫製を保存する場所なのかと想像していた。

しかし、その後サンチャゴ・デ・コンポステーラのパラドールのカフェで出会った人に、これはガリシア地方特有の高床式貯蔵庫（オレオ）である事を教えられた。今まで想像していた内容を彼に伝えると、大笑いをされる始末となった。

そこから田舎に行くと、その土地の身近にある材料で作られている家屋や礼拝堂、小屋、垣根までその土地の特徴が現れていた。車で走っていると、それらの風土にあった建築の変わりようが一望できる。この度、総走行距離は3350Km近く走った事になった。フランスからスペイン北西部、ポルトガルまで足を延ばし、スペインを横切り、BILBAOにあるグッゲンハイム美術館等、過去から現代建築まで見る事が出来た。我々の出会ったスペインは何処まで行ってもとても豊かな国であった。たまたま通りすがりの資料館で過去の生活を再現したインテリアを見る事ができ、内容の豊かさに驚いた。その建物もその地域に調和し、かつ斬新なディテールで納められている。そんな新しい建物と、思いもよらない所で出会った時の感動はひとしおである。

自然と共存できる建築、その場に調和する建築とは、やはり地産地消が原則だろう。この地域に住む人々は、精神的にとっても心穏やかに豊かな生活を営んでいる気がした。もう一度訪れるチャンスがあれば、LEONの北側にあるピコス・デ・エウロッパ（ヨーロッパの峰々）と呼ばれるカンタブリア山脈の山塊と国立公園を巡る自然満喫の旅をゆっくり訪ねてみたいと思う。自然の雄大さとその中で住む人々の暖かさをもう一度…。

あのおじいさんのように、一日ワインを飲みながら山を眺めゆっくり過ごす時が我々に訪れるのだろうか？

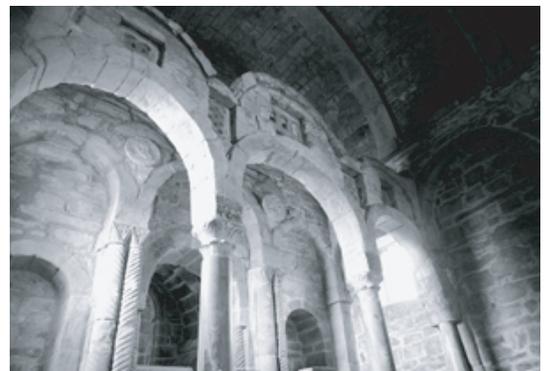
詳細は → <http://leoplan.exblog.jp/8116155/>



JACA 近郊 : S. Cruz de la Seròs



LEON 近郊 : S. Miguel de Escalada



OVIEDO 近郊 : S. Cristina de Lena



BILBAO : グッゲンハイム美術館

Report

「伊丹十三記念館」

日高卓三

「耳にバナナがつまっている男」というジョークを私は何度、人に話したことでしょうか。ある日、汽車にのると前席の男が耳にバナナをつめて座っている。なぜそうしているのか、考えあぐねてついに聞いてみることにした。

「まことに失礼ですが、耳にバナナがつまっていますよ！」

その男が答える。

「何ですか？何とおっしゃいましたか？」

もう一度聞く。

「ミーミーニーバーナーナーガーツーマーターターイーマースーヨー！」

その男がまた答える。

「すみませんが全然聞こえないのです。何しろ耳にバナナをつめているものですから」

このジョークは伊丹十三が1965年に書いたエッセイ「ヨーロッパ退屈日記」の中にあった。前年に東京オリンピックが開かれ、次の年にビートルズがやって来るという日の出の勢いが感じられる時代の寵児として伊丹は登場した。

英国式紅茶のいれ方とか、スパゲッティの作り方、食べ方、ロールスロイスの買い方、英語の母音、子音の発音の仕方など、その一字一句に心酔し、大きな影響を受けた本のひとつであった。

伊丹十三は1933年、映画監督伊丹万作の長男として京都に生まれる。そして父が病死した後、故郷松山に移り、夏目漱石の「坊ちゃん」で知られる松山東高に通学する。ここでノーベル文学賞を得た大江健三郎と出会う。後に、伊丹の妹が大江と結婚する。19才で松山南校に転入。21才で高校を卒業し、大阪大学理工学部を受験するが失敗した。上京し商業デザイナーとなる。この頃「洋酒天国」の名編集長であった山口瞳と知り合い多くの教訓を受ける。ヴァイオリン、ギターを習い始める。楽器の演奏は欠かすことの無い人生の習慣となった。ギターリストの莊村清志とは母方の従兄弟関係とかで、プロ級のギターが今、松山市にオープンした伊丹十三記念館に展示してある。27才の時、俳優として大映に入社する。輸入映画会社であった東和の川喜多長政社長の長女和子と結婚。ここから世界の伊丹が始まる。ニコラス・レイ監督の「北京の55日」出演のためヨーロッパへ旅立つ。チャールトン・ヘストン、ピーター・オートールと共演。続けてリチャード・ブルックス監督の「ロード・ジム」にも出演。

33才の時、和子との協議離婚を届出る。邦画としては増村保造監督の「偽大学生」、市川崑監督の「おとうと」、「黒い十人の女」、大島渚監督の「日本春歌考」、若松孝二監督の「金瓶梅」などがあつた。36才にして宮本信子と再婚。50才の時、出演した「細雪」、「家族ゲーム」、「居酒屋兆治」での演技は俳優・伊丹の到達点だったと言われている。伊丹を俳優としては、今一步という人もいる。しかし伊丹のすごいところは51才の時、封切られた「お葬式」を始めとする10本の映画監督としての腕前である。それまでの多彩で苦闘に満ちた人生がまさに監督業のための下積み時代であったかのように花開くのである。

幼くして父を失い、父を捜し、父となり、父を越えた男の生き様が妻の宮本信子と建築家の中村好文の助けを借りて伊丹十三記念館の中に凝縮されている。中村好文は「十三」の名前にヒントを得て、展示室で俳優、エッセイスト、イラストレーター、料理通、映画監督など伊丹を13面相に見立てて表現している。2階の収蔵庫の中には、膨大な取材ノート、デザインノート、シナリオ、映画用衣装などとともに、使い込まれた辻留嘉一著「包丁控」、「向附」、「茶懐石」、「焼物」などの古書が36cm角の本棚に並び、彼の脳内の一部をかいま見る思いがした。

「終り良ければすべて良いのである」と伊丹十三が館内のどこかからニタリと笑い、見透かしているかのように感じられたのは私ひとりであろうか。

CIPAの見学会「松山、伊丹十三記念館・坂の上の雲美術館&内子探索の旅」についての感想を書くつもりでしたが、紙面の都合で上記のようになってしまいました。ご容赦下さい。

このツアーは7台の自家用車を中川圭子編集長の携帯電話からの狂言回しさながらの巧みで、心豊かなご指示と中川家若旦那のUターンという丁寧な予行演習を織り交ぜた新しい先導方式によって大成功に終わったことを報告致します。



伊丹十三記念館



木造の屋根付橋

DATE

松山、伊丹十三記念館・坂の上の雲美術館&内子探索の旅

日時：2007年12月1日(土)～12月2日(日)

- | | |
|------|--|
| 12/1 | 伊丹十三記念館（設計：中村好文）
坂の上の雲ミュージアム（設計：安藤忠雄）
道後温泉
石畳の家 |
| 12/2 | 石畳の家
内子散策 |

主催：中国インテリアプランナー協会
共催：日本インテリア学会中国・四国支部

Planning

井口の家

アトリエ平田

所在地 : 広島市西区井口
用途 : 二世帯住宅 (アトリエ併設)
面積 : 建築面積 93.79m² / 延床面積 176.05m²
構造規模 : RC造 / 地上2階
主な仕上 : 床 ; 白モルタル、木質系フローリング (蓄熱式床暖房)
壁 ; コンクリート化粧打放し、AEP 塗装
天井 ; コンクリート化粧打放し、AEP 塗装

敷地は広島市の西部、旧街道沿いにあり、周辺は古くからの街並みが僅かながら残っている。一人暮らしだったお母さんと若夫婦家族が、二世帯住宅を建てることになった。家族みんなが末永く、仲良く暮らせる家になりたいという要望だった。

町屋特有の敷地形状から、建物は南北に20mと長くなり、小川に面する外壁の2ヶ所が切り取られている。これにより建物は3つのヴォリュームに分節され、長い建物を周辺のスケールに合わせることができた。また、庇や格子といった伝統的な街並みのエレメントを、新しい材料で置き換えながら取り入れていった。建物の一部を切り取ることは、内部空間にも大きな効果をもたらした。採光・通風・風景を享受することができるようになり、空間に特徴が与えられた。さらに、切り取られた部分は、外部でありながら内部的な広がりを感じられ、それぞれの部屋の気配を視覚的に繋いでいる。一般的に、室内は長く見せない工夫をするものだが、ここでは敢えて建物を南北に貫く軸線(動線・視線・通風)を設けている。一直線に見通せることで、狭い間口から来る閉塞感は和らぎ、軸線に沿って設けられたカウンターや階段、壁面収納など、建物の長さが機能的にも生かされている。このような空間を構成する素材は最小限に抑えたいと考え、インテリアは機能的に整理して行った。RC外断熱工法の採用により、外部に面する室内の仕上げの大部分をコンクリートのままとし、蓄熱式床暖房の組み合わせで、安定した温熱環境を得た。結果、空間構成がもたらす光が主役のインテリアとなった。(平田欽也)



外観夜景

外壁の2ヶ所が切り取られている。ここから採光や通風を享受し、建物を3つのヴォリュームに分節している。



1階アトリエから中庭を見る

「もう一つの長い軸線」= 中庭を介してバスルーム、その窓の向こうにお母さんのスペースが見える。



2階台所から南を見る

「南北を貫く一直線の軸線」= 軸線の左側は階段や壁面収納など長さを生かした機能空間。右側は窓を介して諸室が見通せる。

Planning

古民家再生縁起始末記

龍設計工房

2003年の早春の或る夜、JR-ブルートレイン出雲号の寝台車で、鳥取西部地震で自宅が被災してしまったO氏と、倉吉市打吹玉川伝統的建物群保存地区の指定家屋を改修、一部増築計画進行中 sinnkoutyuu のM氏が向かい合い、古民家と称する時代の流れの中を生き延びてきた二人が、自宅への愛着話に花を咲かせていた。

O氏はその被災した家屋をそのままにして、道路利便のよい近所に新居を移したが、ご先祖が大切にしてきた元の住居を補修し再利用を考えたが、話題となった鳥取県より再建補助を受けた為に、それは不可能と判り、放置したままであったが、強い愛着の念いが有り、簡単に解体するに忍びず、どうしたものかと悩んでいた。そのうち夜も更け、朝には東京駅にて、別れたが、業務を終えたその夜の夜行で、再び奇跡的に向かい合って、話の続きをする事になった。

そこでO氏は建物を有効に利用してくれる方に託したいとの、意向であり、M氏は自らの増築部分に使えないかと思い、再会を約して別れた。

後日、私に南部町(元西伯町)のその建物を一緒に見に行ってほしいと、依頼を受け、ある日もうすっかり復興していたその街に出かけた。

最初の印象は、外観が昭和中期に手が大きく加えられ、建築当初の特徴を感じる、魅力ある建物に見えなかった。しかし、内部は当初のこの地方の特色を持った、しっかりした農家住宅であった。床の間脇が破損し、出書院の朱塗りの樺柱が無惨にも折れていたが、それ意外は部分的に水平を損なっていたのみで、大きな損傷はなかった。

しかし建物規模が大きく、M氏の計画には、大きすぎて、部分利用となり、O氏の要望に応えられない事がわかり、この件は不調となった。

天井裏の大口径の四段梁を持った小屋組と5寸5分幅の差し鴨居に4本樫を入れて二間4本建ちの戸襖が半間納めとなっていて田の字型四間を同時使用する使い方には最適なしつられがすっかり気に入った私は、以前よりずっと、古民家を探していたY氏ご夫妻のことが、即座に頭に浮かび、O氏に其の方への交渉の了解をお願いし、帰路についた。

日を改めY氏ご夫妻を案内し、内部の様子と天井裏のライトで浮かび上がった素晴らしい梁組に、ご夫妻は強い関心を寄せられ譲渡を即座にお願いされたが、東京で複数の公職を持たれるY氏の都合で移築は2~3年後と約束された。

2006年3月解体に着手、5日目には隠れていた4段に組み上がり、埃と塵が厚く積もった真っ黒で、がっしり小屋組を、やわらかな春の日差しが見事に浮かびあがらせていた。床の間上部の小屋束に止め付けられていた棟札には明治39年築とあり、奇しくも丁度100年目に当たっていた。小屋組み意外の屋根材料は後年に遣り替えを含め手がかかり入っていて、近年の造りとなっていた。解体と同時に鳥取県中部の関金温泉の地に倉吉出身の版画家、故長谷川富三郎氏の命名された、ひとひ(一日)山荘の地鎮祭が執り行われた。

Y氏夫妻は、昭和の末期よりこの地に温泉付きゲストハウスを造るべく、方々の古民家を尋ね歩いたが、念いの丈に合わず、数件の建物より選び残した古材を収集したり、廃業された家具屋さんから大量の樺や桜の板材、角材等を入手したり、希望プランは平成2年に書き上げたり、と準備を進めるにとどまっていた。この古民家はそのプランにすっぽりはまってしまう、この間取りを予見したかの如くでその縁に不思議な感動をおぼえた。

煤竹や、庭、外構用石材も方々のそれぞれ不思議なくらいタイミングよく、有り難いご好意で次々に手に入り完成への方途が見事に整っていったのは、振り返ってみたところ、偶然ではなく、必然の如く感じたのは私一人では無かった。

こうして様々な奇縁、良縁で関金の地に新しい装いで、12月29日、建物は竣工し折からの寒波で純白の化粧を施されていた。そして明るく年の容器の良い夕刻、竣工祝い暖炉裏を囲んで催された。上棟祝いに続いて南部町より、お祝いに駆けつけられた、O氏夫妻の喜びの顔がとても晴れやかで、可愛い娘を興入れさせた両親のようであった。

(菅原隆)



Planning

吉島の家

エルイーオー設計室

今回の物件の敷地は間口 6m、奥行き 15m、三面を建物に囲まれ、光も殆ど入らないという最悪の条件での計画でした。もともと築 48 年の 4 世帯のアパートがあった場所を、定年後の新しい生活の拠点にしたいとの事で、当初は取り壊し新築で計画をしたのですが、案の定、とてもこの条件下では難しい事が分かり、リノベーションをする事になりました。壁、柱、垂木、基礎、等、一部の丈夫な物以外は補強や交換にて対処する事になりました。

建物を取り壊す際に、最近ではあまりお目にかからない立派なお福さん（幣串）が屋根裏から出てきました。このお福さんを巡って、どうするのがベストであるか、いろいろ検討したのですが、結局、監督さんのアドバイスにより、神社に返し、新しいものを取付ける事になりました。48 年間、そのアパートを守ってくださった事に感謝をし、新しい住まいに、新しい守り神をお迎えしました。

今回の物件は周り三面に住戸が競り建ち、外周部から光を取り入れる事が難しかった為、6 連の天窗によって光を取り入れる計画としました。吹き抜けを通してリビングに落ちる光は窮屈な立地を感じる事の無い明るい空間となりました。今回の物件においても、自然素材を極力利用する計画とし、1F の壁面はスイス漆喰（スイス氷河粘土塗材）を使用して柔らかい印象を持たせつつ、調湿、消臭という効果を期待しています。床材には縦（モミ）の木の柾目を使ったフローリングに濃い茶色の仕上の自然塗料仕上としました。気に入って購入された家具に合わせた色決めとなりました。濃い色での塗装はムラが出やすく、なかなか安定しないのですが、これら家具と床との色合いをととても気に入って頂いています。

この度、施主さんの一番のこだわりは、和室と浴室でした。

和室は三尺角の縁なしの畳、天井はアジロ組に桜の棟竿縁が入りました。壁の一面には縦の木を化粧として貼り部屋のアクセントとしました。当初は客間の予定で計画していたのですが、娘さんの突然の帰郷により、今ではご夫婦の寝室になっているようです。

浴室の床は濃いセピア色のタイルとし、天井・壁はヒバ材としました。ゆったりとした真っ白のホーローの浴槽の側には地窓を作り、浴槽に入るとその目線に南天、椿のある坪庭を眺める事ができます。引き渡し後に「庭の椿が花をつけたんですよ！」と弾んだ声で連絡してくださいました。

この家が、お二人の終の住処として共に成長してゆくのを楽しみにしています。



1 階テラス

隣の家との配慮に対して、木製塀にて対処。



ダイニング上の天窗

吹き抜けを 6 連の天窗を設置。柔らかい光と風を取り込む。



キッチン

他の家具と素材を統一し、狭いながらも収納部分を充実させた。



既存の躯体

想像以上に最低限の部材であり、老朽化が進んでいた。



リビングからダイニングへ

リビングとダイニングを、木製建具が柔かく間仕切りする。

法人会員のひとこと

株式会社 Pathgate

セカンドライフの家づくり

仕事をリタイアしてこれから長い第二の人生を如何に過ごしていくかと言う問題は考えて見れば深刻な問題かもしれません。「さて、何をこれからしたら良いのか?」「自分には何が出来るのか?」と言う問いを自分自身に投げかけてその答えを直に出せる人は多くはないでしょう。

私は48歳で前職の一切を突然退き、自分の会社を立ち上げたのですが、自分自身に投げかけたこれらの問いに思いのほか手こずってしまいました。結局、空っぽの自分自身に直面せざるを得なかったのです。何か世の中に役に立つことはないのか?その事ばかり考えていました。有難いことに今までお世話になった方々が心配しているんな話を持ってきてくださり、私なりにそれを何とか実現化すべく動いてみました。

そしてそれらの経験の蓄積の中で、年老いた父母のことを思い、お世話になった先輩方を思い、そして私自身のこれからの人生を思い、私のライフワークとしてセカンドライフをいかに暮らしていくのか、をこれからの仕事の柱にしていきたいと言う結論に達しました。

団塊の世代が大量にリタイアする中で、世の中全体がセカンドライフに直面することになります。高度成長時代は遠の昔に過ぎ去っているのに私たちの頭はまだその時代を追いかけています。その大きなギャップを埋めるのは並大抵のことではないと思います。しかし、それぞれの人が自分の通る道としてこの問題に直面せざるを得ません。

この問題を共に考えていただけないでしょうか?様々な方のご協力をお待ちしております。(藤田順治)



NIPPO

トラフィット / イーブズ / エポピュア

ニッポ電機は50年来、スリムランプ(直径20mm 蛍光ランプ)とその関連製品の製造に取り組んできたランプメーカーです。使いやすいサイズや色など標準品の多様な力を注ぎ、機能性をベースに商品を照らす光、環境づくりに寄与する光をご提供いたします。

●Tra-Fit(トラフィット): 形状・仕上げ・サイズにこだわったデザイン器具で、継ぎ目の目立たないシームレスラインの直接光または間接照明の光が簡単に得られます

●EAVES(イーブズ): 雨や日光が直接当たらない半屋外でもシームレスの間接照明の光が得られます。

●epoPURE(エポピュア): φ8mm 冷陰極ランプ(EEL)採用の厚さ37mmの薄型内照式看板



Tra-Fit



EAVES



epoPURE

ニッポ電機株式会社 広島営業所 〒730-0851 広島県広島市中区榎町8-3 TEL.082-233-8211

<http://www.nippo-web.com/> / info@nippo-web.com

Column

エコな生活 - 地球に優しく < LED照明でCO2も電気代も削減 >

NPO 法人LED照明推進協議会 理事 安岡 悦章(照明メーカー 研究開発部 部長)

いま話題のLEDとは・・・

1990年代後半に登場した、青色LEDによって、一躍次世代の光源として脚光を浴びたLEDですが当初は、0.1ワット以下の非常に小さいものしかなく、その用途としては、携帯電話か、電飾程度しかありませんでした。しかし、登場より10年が経ち、LED素子は急激な発展を見せています。LEDは、非常に明るい、ユニットの開発で一般照明として使用できる時代になってきました。そのような中で、地球温暖化問題の対策の一つとしても注目を浴びており、ますます今後LED照明の活躍分野が大きく広がっていくようとしています。

LED照明で、CO2も削減!! 電気代も削減!!

LEDの寿命は約3~4万時間に設定されています。つまり、一日8時間点灯で約10年持ち、その後70%の明るさになるとされています。消費電力も白熱灯に比べ1/4以下。廊下や階段など、長時間点灯する場所には最適な光源です。消費電力も白熱灯に比べ1/4以下。廊下や階段など、長時間点灯する場所には最適な光源です。60W白熱灯ダウンライトと同じ明るさを得ることが出来るLEDダウンライトは、消費電力わずか15W以下!ダウンライト1台をLEDに交換する事で、年間CO2約53Kg、電気代2890円も削減できます。

IPEC

INTERIOR PRO EX CO 2008

インテリアのプロと企業をつなぐ国際展示会とセミナー
2008年11月19日(水) ~ 22日(土)
東京ビッグサイト

IPECとは

IPECは、今までの他の展示会とは異なり、インテリアプランナー、インテリアデザイナー、インテリアコーディネーターをはじめとしたインテリア・建築のプロフェッショナルを来場者対象とした質の高い展示会を目指しています。そのため、商品そのものではなく、プロが求めるインテリア・建築に関する材料・製品・システム・空間などの計画・技術情報の開示を展示する、プロとプロの交流の場となっています。今年のキーワードは「ひと環境デザイン」です。

2008年11月19日~22日10時~18時(最終日17時)
東京ビッグサイト〈西展示棟及びアトリウム〉
主催 日本インテリアプランナー協会(JIPA)

同時開催 JAPANTEX2008
インテリアフェスティバル2008
IFFT/interiorlifestyle living

NEWS

ミニレクチャーのお知らせ

表題: 「生活を工夫する、余地ある道具たち」
講師: 石田和人氏(石田和人デザインスタジオ)
日時: 2008年7月11日(金)19:00~20:30
場所: 広島市まちづくり市民交流プラザ
北棟5階 研修室
申込先: 日本インテリア学会中国・四国支部 事務局(大森)
■e-mail jasis@hiro.kindai.ac.jp
■fax 082-434-7011
記入事項
①お名前と勤務先の名称
②所属の名称|学会、IP協会、その他
*1学会(日本インテリア学会) IP協会(中国インテリアプランナー協会)

試験合格者のご紹介

昨年度から、インテリアプランナー試験直前講座が始まりました。そのうち中四国エリアにての合格者が6名の中、3名(全受講生4名)が当協会講座の受講生でした。

準会員から見事試験に合格され、正会員になられた方をご紹介します。

名前: 岩清水泰博
会社名: ウッドワン 住宅構法開発室
抱負: 業務の中でインテリアデザインを中心とした空間提案を行っていますが、今後は資格を持つ者として、より一層プロ意識を持って業務に励みたいと思います。また、会員の皆様との交流を通じて、知識・体験の枠を広げていけたらと願います。

法人会員紹介

アイカ工業株式会社
730-0037
広島県広島市南区霞2-9-10
T:082-254-1311
F:082-255-8817
<http://www.aica.co.jp/>

株式会社ウッドワン
738-0022
広島県廿日市市木材港南1-1
T:0829-32-9833
F:0829-32-9839
<http://www.woodone.co.jp/>

株沖田
730-0053
広島県広島市中区東千田町2-3-17
T:082-243-1101
F:082-247-6237
<http://okitahome.com/>

株式会社山王
831-0008
福岡県大川市鐘ヶ江709-1
T:0944-87-9100
F:0944-86-5805
<http://www.sanno.jp>

西武株式会社
730-0843
広島県広島市中区舟入本町18-3
T:082-292-9740
F:082-295-0073
<http://www.seko.co.jp/>

大光電機株式会社
730-0813
広島県広島市中区住吉町16-3
T:082-247-6711
F:082-249-5472
<http://www2.lighting-daiko.co.jp>

株テックス
732-0052
広島県広島市東区光町1-6-8
T:082-263-4554
F:082-263-7558
<http://tex-21.com>

トーソー株
733-0037
広島県広島市西区西観音町9-7 1F
T:082-232-0439
F:082-232-0432
<http://www.toso.co.jp/>

ニッポ電機株式会社
730-0851
広島県広島市中区榎町8-3
T:082-233-8211
F:082-233-3500
<http://www.nippo-web.com/>

株式会社PathGate
731-5145
広島県広島市佐伯区三筋2-7-41-602
T:082-921-7171
F:082-921-7171
<http://www.pathgate.jp>

ヤマギワ株式会社
732-0057
広島県広島市東区二葉の里1-1-68 2F
T:082-568-5371
F:082-262-1011
<http://www.yamagiwa.co.jp>

法人会員リストです。
50音順で掲載しています。

続々・バルセロナからの寄稿「Soffa と Vol」

昨年のバルセロナ通信で予告しました広場が昨年12月に竣工しました。敷地面積は12,000㎡、建設予算は205万ユーロ。地方裁判所建設に伴う公共広場です。前回の広場と比較すると、デザイン、使用材料などがより複雑なものとなりました。今回は木を見て森を見ないのではなく、森は一本一本の木から成り立っている、という視点からお話をしようと思います。

今回、広場に設置したストリート・ファニーチャーの内、ベンチ、街灯に事務所デザインのものを採用しました。ベンチの名は「Soffa」で、プレハブコンクリート製です。街灯は「Vol」と呼び、ガルバニウム鋼板製で、高さ8mです。「Vol」の方はスペインでは初めてLED照明を採用しました。初めてと言うこともあり、試作を含め、デザイン提出から完成まで5ヶ月を要しました。今回は合計4本を設置しましたが、照度、照明範囲など、次作に向けて改善の要素は残されています。

これらは事務所のデザインですから、市場に出回れば、パテント料が入ってきます。と言うわけで、これから事務所が請け負う建設予定のプロジェクトには、ほぼ自動的にこれらストリート・ファニーチャーの採用が予定されています。ベンチはコンクリートの色変え、街灯は高さを5mから12mまでバリエーションを組み、多様な建設要件を満たすよう工夫されています。

プロジェクトを大きな視点から考察することはもちろん不可欠ですが、どんなに大きなプロジェクトも、個々のアイテムの集結です。今回はプロジェクトの規模は大きかったにも拘わらず、建設過程全般を通じて、視点は常に、デザイン詳細に向けられていたように思います。「木を見ながら森を見る」視野を持ち、プロジェクトの完成度をより高いものにしていきたいものです。



ランドスケープ・アーキテクト / バルセロナ在住
飯富 美香

編集後記

何事にもしばられない、とらわれない、肩の力を抜いて、只、当たり前を淡々と...

激動の時代を生きてきた団塊の世代の申子である今の若者達のスタイルのようである。

やっと、この年になって、「只、淡々と生きる事」にある意味、羨望に近い思いを抱いてはいるのだが、どうも、長年培ってきた習性は、そう、簡単に変えられるものではなさそうである。会報誌、今回も土壇場までの作業となってしまった。ああ〜もっと計画的にする予定だったのに〜

平成19年度 中国インテリアプランナー協会活動記録

- 2007.10.18 講演会
「楽しい非電化生活のすすめ」 藤村靖之
- 2007.06.16 総会
- 2007.06.16 第9回ミニレクチャー
「日本家具文化考」 石丸進
- 2007.07.06 第10回ミニレクチャー
「社会的価値をつくるデザイン」 田中一雄
- 2007.11.21~24
IPEC-2007
- 2007.12.1~2 見学会
「松山、伊丹十三記念館・坂の上の雲美術館&内子探索の旅」

〈平成20年度 総会のご報告〉

- 6月14日(土) 14:00~15:00
- 広島市南区皆実町1-6-29
(財)広島県健康福祉センター
- 平成19年度活動報告及び会計報告
- その他
- 平成20年度活動計画及び予算案の承認

平成20年度総会を上記の要領で開催致しました。
会員の皆様に多数ご参加頂きありがとうございました。

〈事務局より〉

・平成19年度会費未納入の方は、早急に納入下さいますようお願い致します。

・住所変更、事務所移転等ありましたらお知らせください。

・新会員募集

当協会では新規ご入会の会員を募集致しております。インテリアプランナー資格者の方をご紹介くださいますようお願い致します。

・国民健康保険にご加入の方へ

CIPA会員で加入条件を満たす方は、「文芸美術国民健康保険」に加入できるようになりました。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

<http://www.bunbi.com/>

・平成20年インテリアプランナー試験対策用テキスト頒布

インテリアプランナー試験参考書のお申し込みは関西インテリアプランナー協会宛をお願い致します。詳細はホームページでも確認できます。

fax:06-6266-5745

<http://www.jipa.net/kipa>

〈(財)建築技術教育普及センターより〉

平成19年度 インテリアプランナー試験の結果

	学科試験	設計製図試験
受験者数	437人	522人
合格者数	287人	163人
合格率	65.7%	31.2%

平成19年度 中国インテリアプランナー協会会員数

正会員：60名 準会員：05名

学生会員：20名 法人会員：11社 平成20年度 6月現在

発行者：中国インテリアプランナー協会

〒731-5135 広島市佐伯区海老園1-13-7

tel:082-923-2132

fax:082-922-0018

<http://cipa21.com>

mail: cipa@cipa21.com

発行日：平成20年6月